

<理念>

当市は、中山道の馬籠宿、落合宿、中津川宿の三宿があるまちとして、古くから交通の要衝として発展してきました。多くの人々が行き交うことで、情報が集積、発信され街道文化が発展し今日を迎えています。

当市には、リニア中央新幹線岐阜県駅、車両基地及び工場が設置されることになりました。新たな時代の交通の要衝、産業拠点のまちとしての期待が膨らんでいます。

平成 27 年度から平成 39 年のリニア開業までは、この期待に応えられるまちづくりを行ううえで極めて重要な時期であり、その取り組みにあたって、市民の総力を結集することはもちろんのこと、他の自治体との連携を強力に推し進め広域連携の要として、更なる情報集積に努め、内外に積極的に情報発信がなされる「開かれたまち」となることが欠かせません。

そのうえで、以下の 4 つのことを基本的なまちづくりの方針として、平成 27 年度からスタートする総合計画基本構想を作成し、まちづくりに取り組むべきと考えます。

1. 美しい景観に囲まれ活気あふれるまち
2. 人・水・緑が輝く活気に満ちたまち
3. 多くの子供たちがたくましく育ち活気あふれるまち
4. みんなが安心していきいきと暮らせるまち

これら 4 つの方針は、中津川市らしさという当市の魅力をさらに伸ばすものであり、当市の一層の発展をもたらすものと考えます。